

国立長寿医療研究センター 市民公開講座 2015

参加費
無料

住み慣れた地域で 元気に長生きするために

日時

平成27年12月12日(土) / 14時(13時30開場)~16時

会場

大府市役所・多目的ホール(大府市中央町五丁目70番地)

対象

定員200名
事前登録不要
どなたでも参加できます



講演1

『白内障かなと思ったら知っておくべきこと』

国立長寿医療研究センター 眼科 星 最智

高齢になって目が見にくくなってきた時、老眼や白内障の他、様々な原因が考えられます。本講演では白内障でよくみられる症状、鑑別すべき他の病気、現在行われている最新の治療についてわかりやすく解説します。



講演2

『難聴の最新情報』

国立長寿医療研究センター 耳鼻科 杉浦彩子

加齢とともに聞こえは遠くなりますが、60代では約2割、70代では約4割の方が補聴器の適応となる聴力となってきます。本講演では、音を言葉として認識するまでのメカニズムから最新の補聴器まで、耳の遠い方にも遠くない方にも耳寄りな情報をお話させていただきます。



講演3

運動による認知症予防 ~コグニサイズのスズメ~

国立長寿医療研究センター
老年学・社会科学研修センター 牧迫飛雄馬

高齢者の健康増進のため、認知症予防や要介護状態の予防を目指したプログラムの作成と効果の検証を実践しています。とくに、身体活動を向上することによる脳機能への影響についての研究活動に従事しています。

